

ひろしま

学校・家庭・地域

CREATIVE LEARNING INFORMATION PAPER

CLIP Vol.20

学校を変える。教育が変わる。

平成14(2002)年12月10日発行 広島県教育委員会

CONTENTS

- 豊かな心を育むひろしま宣言 ~育てよう「心の元気!」~
- ひろしま教育の日・ひろしま教育ウィーク
- 義務教育に関する県民意識調査
- 「基礎・基本」定着状況調査
- 広島県立併修選中高一貫教育校
- 広島県生涯学習審議会答申
- 図書館情報提供システム
- 「有言環境」をなくそう!
- 学校週5日制レポート
- こころの風景 2
橋田 和典(吉田町立吉田中学校)
- 学校トイレ美化
- 放送大学教養学部・大学院学生募集
- スクールカウンセラー募集
- おでかけガイド

豊かな心を育む
ひろしま宣言

育てよう
心の元気!

学校における道徳教育、家庭・地域社会における心の教育の充実が求められています。こうした背景のもと、11月に「豊かな心を育むひろしま宣言」を発表しました。

感じていますか
子どもたちの「心の元気!」

すべての子どもたちが 生き生きと夢や希望を語ること
社会の一員としての自覚を持ち たくましく成長していくこと
それが私たち大人の願いです

しかし 子どもたちをとりまく現実はどうでしょう
悲しい出来事は後をたちません
ルールを守る意識は薄れています
まじめや努力を軽んずる風潮も広がっています

私たちは 無関心であることを 寛容であることと勘違いしていないでしょうか
生き方を語ることを 敬遠していないでしょうか

生命を愛おしむ
人とともに歩む
自分らしく心を輝かせる

道徳を教えることは 生き方を語ることです
自分を見つめ 「心の元気!」を育てる力となります
道徳を教えることに ためらいはいりません
私たち大人の大切な仕事です

さあ はじめましょう
学校・家庭・地域で力を合わせ 子どもたちの「心の元気!」を育てることを

県教育委員会は 県民の皆様方のご支援をいただきながら
道徳教育の推進に全力を尽くしてまいります
平成14年11月 広島県教育委員会 教育長 常盤 豊

この宣言は、出発点です。
ここから、学校・家庭・地域が
いっしょになって、
心の教育を推進していきましょう。



豊かな感動体験が
健やかな心を育みます



乗り越えた数だけ
たくましい心が育ちます



つながりのある生活が
温かい心を育みます



学校・家庭・地域の豊かななかかわりの中で **ときめき**、**ふんばり**、**つながる** ために
それぞれの「**子育て三原則**」をつくってみませんか。

学校では

- 教職員もいっしょになって「朝の読書」を進めています。
- ただ「がんばれ、がんばれ」ではなく、「こうやってみよう」と動きます。
- 笑顔添えた「あいさつ運動」に取り組んでいます。

家庭では

- 親子で夢を語り合う機会を大事にしています。
- 子どもが自分で決めたことは、最後までやりきらせています。
- 「おはよう」や「おやすみ」などのあいさつを欠かしません。

地域では

- 子どもたちとつくれた「フラワーロード」が自慢です。
- 子どもたちが地域行事のスタッフとして活躍しています。
- 日常的にあいさつや声かけをするようにしています。

たとえば

あなたの三原則は…?

ときめこう

ふんばろう

つながろう



広島県こども夢基金

募金額が1,000万円を突破しました。

昨年5月5日(こどもの日)にスタートして以来、皆様からあたたかいご支援をいただいている広島県こども夢基金の募金額が、ひろしま教育ウィーク最終日の11月7日(木)に1,000万円を突破しました。ありがとうございます。

こどもたちの思い 応援します!

こんな活動に助成しています

皆様からの基金は、子どもたちが地域の伝統芸能を習い事として体験する施設を訪問して実演・交流するものや、障害のある子どもたちに乗馬体験してもらうものなど、子どもたちが豊かな心を育むための自然体験活動や文化・スポーツ系ボランティア活動などに対して助成を行っています。



改革 役の一人です。

日・ひろしま教育ウィーク
を持ち、それぞれの立場から広島県の教育改革
のきっかけが、「ひろしま教育の日」です。
「週間」をはじめ、さまざまな行事が県内各地で



(作家・教育改革国民会議委員) 言「もこの場で発表されました。

幼稚園でも 11/6

戸河内町立松原幼稚園
幼稚園の場で収穫したサツマイモ
を調理し、お店を飾って販売しました。

小学校では 11/6

福山市立東村小学校
保護者、老人会、公民館の方々
と「かかしづくり」に挑戦しました。

養護学校でも 11/1

黒瀬養護学校
地域の方々保護者の応援のもと、
マラソン大会を実施しました。

教育委員会でも 11/4

河内町教育委員会
「第1回ひろしま教育フェスタ」を開催。
講演会や音楽祭、生涯学習展示など
充実した内容となりました。

「にこたえて」

子ども用「来(ら)いぶらりキッズ」もオープン!

利用者

検索結果にもとづいて

お近くの図書館に利用相談

(利用可能かどうかは貸出館の利用規程によります)

県立図書館 市町村立図書館など

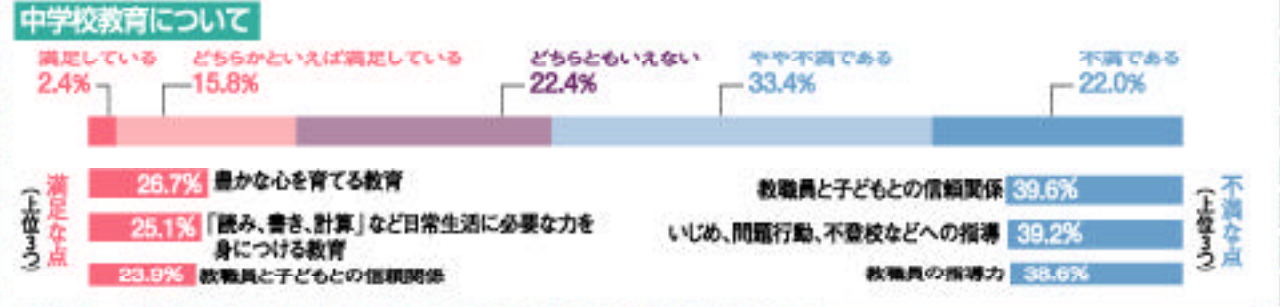
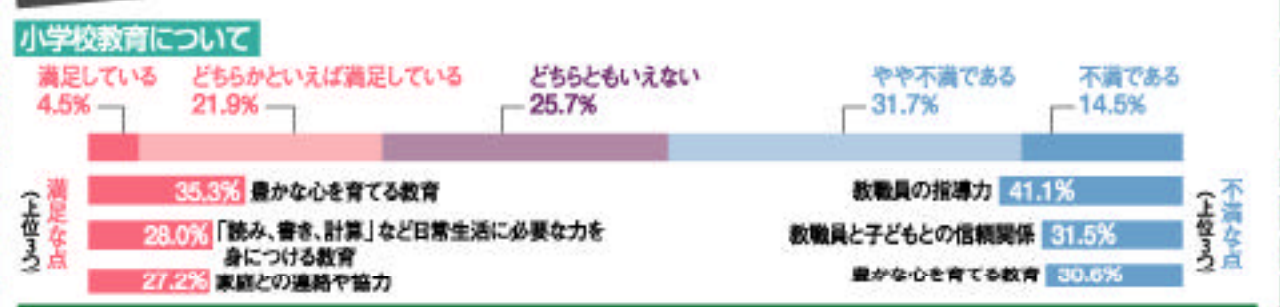
図書館

a.jp/
a.jp/hpkids/

ンピュータ目録
子どもの本案内カウンター
あかちゃんのほんだな」コーナー
ご利用ください。

義務教育に関する 県民意識調査

75%が「教職員の指導力や資質の向上」を 教育委員会に期待



- 小学校・中学校の教育に関して、教育委員会に特に力を入れてほしいこと(上位3つ)
- 75.0% 教職員の指導力や資質を向上させる
 - 61.0% 教職員が子どもと十分接することができるよう、適正な教職員配置を行う
 - 53.8% 学習内容の理解度に応じた学習形態や指導態勢を充実させる
- ここにご紹介したのは結果の一部です。これ以上の結果について知りたい方は広島県教育委員会ホームページをご覧ください。

広島県立 併設型中高一貫教育校

6年間を通して ひとりひとりの可能性を 最大限に伸ばします

平成16年
4月開校

「併設型中高一貫教育校」とは
中学校と高等学校をひとつの学校としてとらえ、中高の合計6年間にわたって計画的・継続的な教育をしていく学校です。中学校から高等学校への入試がないことや、6年間という長い期間の中でじっくりと自分の目標に向かって学習できるといった特長があります。

学校の規模

併設型中学校	併設型高等学校(全日制普通科)
1学年4学級(160人)	1学年6学級(240人)

※開校当初3年間は、中学校1年4学級、高等学校1年6学級の募集を予定しています。送学区域は広島県一円です。

併設型中学校から併設型高等学校へは
高校入試を受けずに入学できます。

入学者選抜(4学級) → 併設型中学校 → 併設型高等学校 → 入学者選抜なし

公立中学校 → 入学者選抜 → 公立高等学校

試学指定

入学希望者(併設型) → 併設型高等学校

育てたい生徒の資質や能力

- 知性** 確かな学力、科学的・論理的な思考力、的確な判断力、豊かな創造力・表現力
- 感性** 他人を思いやる心などの豊かな人間性、社会性や規範意識、多文化を理解する態度
- 意志** 困難を乗り越える精神力・体力、高い目的意識、責任ある行動力、自主的に学ぶ姿勢

グローバル化時代に活躍できる人材を育成します。

中高の教員が協力して確かな学力を身に付けます。

- ALT(外国語指導助手)・留学生との日常的な交流や情報機器の活用により、生きた英語や情報収集・情報発信能力が身に付きます。
- 地域の教育力(広島大学・サイエンスパークなど)の活用により、自分の将来につながる学問分野に出会うことができます。

開校場所
東広島市高屋町
JR西高屋駅から徒歩5分

教育

「あなた」も主



ひろしま教育の日
県民みんなが教育に関心
に対してできることを考
今年も、「学校へ行こう
開催されました。

「ひろしま教育の日」フォーラム

11月2日(土) 中国新聞ホール(広島市)

ひろしま教育の日制定記念特別表彰、実践発表会、曾野綾子さん
による特別講演などが行われました。「豊かな心を育むひろしま

に根づいています。

“学校へ行こう”週間

教育ウィークを中心に開催する「学校へ行こう」週間
も今年で3年目。今年も、幼稚園や私立学校、市町村
教育委員会なども参加しました。実施校は1,279校に
のぼり、約40万人の方に参加していただきました。

中学校では

11/1

高等学校では

11/5



呉市立二河中学校
3年間取り組んできた「小中一貫
教育」の成果を公開しました。



賀茂北高等学校
「読み書きづくり」「英語を楽しく」
「ちくちく介護とリース作り」などの
公開講座を開催しました。

図書館情報
提供システム

「本を読みたい」

誰もがいつでもどこでも

利用できる図書館

来(ら)いぶらり!

県立図書館
市町村立図書館など



24時間、どこからでも
所蔵資料の情報を
検索できます。

インターネット

県立図書館内では
必要な方にはスタッフが検索のお手伝

来(ら)いぶらりネット
<http://www.hplibra.pref.hiroshim>

来(ら)いぶらりキッズ
<http://www.hplibra.pref.hiroshim>

広島県立図書館

児童図書コーナー

も一新!

「基礎・基本」 定着状況調査



広島県は、県内すべての公立小学校5年生、中学校2年生を対象に、
基礎学力などがどの程度身についているかの調査を行いました。

●調査の概要

- 調査対象：広島県内の公立小学校5年生及び公立中学校2年生の児童生徒
調査期日：平成14年8月25日(火)
調査内容：実教科など：小学校5年生
1. 国語、算数における前学年までの学習内容
 2. 生活と学習に関する意識・実態
 3. 指導方法など
- 中学校2年生
1. 国語、数学、英語における前学年までの学習内容
 2. 生活と学習に関する意識・実態
 3. 指導方法など

●各教科の調査結果について

「基礎・基本」は概ね定着しています。

概ね定着していると思われるもの☆ 定着度に問題があると思われるもの★

小学校

国語(通過率71.6%)

- ☆ 手紙文を書くこと
- ☆ 漢字を読むこと及び書くこと
- ★ 文章の読み取りと内容の理解

算数(通過率69.9%)

- ☆ 計算や作図
- ☆ 数の位や面積の単位の理解
- ★ 分数の意味の理解
- ★ 数学的な考え方

中学校

国語(通過率73.3%)

- ☆ 話を聞いて聞き分けること
- ☆ 漢字を読むこと及び書くこと
- ★ 文章の読み取りと内容の理解

数学(通過率59.0%)

- ☆ 一次方程式や正負の計算
- ☆ 図形の作図
- ★ 空間図形の基本的性質の理解
- ★ 数学的な考え方
- ★ おうぎ形の弧の長さの求め方

英語(通過率69.3%)

- ☆ 聞くこと・読むこと
- ☆ 英語による応答(実技調査)
- ★ 文章の意味を考えて話すこと
- ★ 基本的な語の用法の理解
- ★ 場面に適した文を正確に書くこと

「通過率」とは設問ごとの正答と準正答を合計した児童生徒の割合です。

●学力定着と生活・学習との関連について

基礎学力の定着と関係する指導方法や 家庭生活を提案します。

学習の定着に、家庭での生活や学習の習慣がどのように影響するのかを調べました。
その結果から、学力定着に関連が深いと思われる指導方法、家庭生活などを提案します。

学校では

- 一人一人の理解に応じた、「わかる授業」を行う
- 発表したり、質問したりする機会を設ける
- 適切な宿題や課題を出す
- 答えが違っていたら、その理由を考えさせる



家庭では

- きちんと朝食を食べさせる
- 自分の役割は最後までやりとげさせる
- 家族でよく話をする



児童生徒は

- 毎日、家でも学習をする
- 宿題を必ずやる
- 自分でいろいろな問題を解いてみる
- 勉強の仕方を工夫する



ここに紹介したのは結果の一部です。これ以上の結果について知りたい方は広島県教育委員会ホームページをご覧ください。

広島県生涯学習 審議会答申

広島県における家庭の教育力を充実するための方策について

子どもたちの問題行動にはさまざまな原因がからみあっていますが、中でも「過保護、甘やかし過ぎの親」「しつけや教育に無関心な親」の増加により、家庭の教育力の低下が指摘されています。家庭での教育力充実には、それぞれの家庭はもちろん、地域や行政のサポートが必要です。

家庭では

- 基本的な生活習慣をはぐくむ
規律ある生活習慣
「食」を大切にする家庭に
- 規範意識をはぐくむ
しつけの充実
わが家の方針・ルールを決めて実践
- 豊かな心をはぐくむ
生きる勇気を育む体験の機会を充実
新たな読書の扉を開こう
- 愛情をはぐくむ
父親の家庭教育への参加促進
家庭を安心して過ごせる場に

地域でサポート

青年の力を地域活動に活用し、地域でつながる工夫
日常的な声のかけ合いで、親同士がつながる工夫
子どもたちを地域行事に企画から参加させ、子どもとつながる工夫

行政がサポート

子育てを支援する「場」づくり「人」づくり「体制」づくりを
推進していきます。

生涯学習を支援するシステムの構築について

広島県生涯学習審議会は、誰もが学びたいときに学べる環境づくりについても答申しています。このなかには、「広島県生涯学習キャンパス構想」実現に向けて、行政区域を越えて体系的な学習機会を提供することや学習成果を社会に生かすことなどが提案されています。

詳しくは、広島県教育委員会ホームページをご覧ください。

